

令和6年度 環境施策の取組について【年次報告書】

三次市 市民部 環境政策課

1 脱炭素社会の実現に向けた取組

令和5年度策定の「三次市地域再生可能エネルギー導入戦略」に基づき、市カーボンニュートラル推進本部を中心に取組を行った。

(1) 脱炭素推進事業

- ア 施設照明のLED化（主要市道等、市中央図書館）
- イ 太陽光発電設備の設置（東光保育所）
- ウ 施策の具体化検討（公共施設のLED化、EV充電設備整備など）

(2) 脱炭素普及啓発事業

- ア 『みよし未来環境会議2024』の取組

【活動目的】

未来の環境づくりに若い世代の意思や感性を反映する。

【構成】

応募のあった市内の中高生19名（高校生9名、中学生10名）をサステナアンバサダーとして市長が任命した。

【活動内容】

「知る・学ぶ」「実感・体感」「共有」「計画・実行」を活動の柱として、研修・ワークショップ・フィールドワークなど30回を超える活動を通して得た成果をイベント等で発表するなど啓発活動を開催した。



A 知る・学ぶ

- ▶『環境基礎、専門講座』10/5・3/1
【講師：県立広島大学准教授 小林謙介さん】



- ▶GW②『伝わる・広がる情報発信とは』1/20
【講師：（一社）三次観光推進機構 名越陽介さん】



- ▶GW①『いきいき食堂 in 田幸』11/23
【いきいき食堂代表：中廣章子さん】



- ▶GW③『カーターピーナッツの歴史と生産者の思い』1/27
【講師：カーターピーナッツ研究会会長 杉原達也さん】



B 実感・体感

- ▶施設見学『企業のZEBの取組』8/19
【広島銀行十日市支店】



- ▶イベント『動物愛護管理～わんにゃんハーモニー～』9/22
【福祉保健センター、十日市親水公園】



- ▶市外FW①『広島未来のみづばち森づくりフェス』10/26
【安芸太田町グリーンシャワー 向かいの山】



- ▶市外FW②『広島未来のみづばち森づくりフェス』10/26
【安芸太田町グリーンシャワー 向かいの山】



C 共有

- ▶成果発表『活動成果 市長報告会』3/27



- ▶成果発表『三次商工会議所会頭との意見交換』3/27

【熱意を伝える、継続する】



【活動成果 1】

これから実践していく内容を企画書として取りまとめ、活動成果として市長に報告した。

▶サステナアンバサダー企画

地球のヒーローになろう！！

未来のための エコアカデミー

みよし未来環境会議2024



▶サステナアンバサダー企画

みよし未来 ピーナッツ革命

6次化で知ろう！環境条例。

みよし未来環境会議2024



ゲームプロジェクト

【活動成果 2】

『みよしからみんなの未来を変えていく』をテーマにした環境啓発ポスターを2種作成し、学校や住民自治組織等に配布した。



イ 『みよし未来環境宣言』の表明（6月）

みよし未来環境会議サステナアンバサダーの提言を基調として、2050年カーボンニュートラルの実現をめざす「みよし未来環境宣言」を市長が表明した。



ウ 『みよし未来環境条例』の制定

【制定の目的】

持続可能な脱炭素社会の実現に向けた基本理念や行政・事業者・市民等・再エネ事業の責務を明らかにし、基本的施策の推進を図り、持続可能な脱炭素社会を実現するとともに、良好な環境を未来に引き継ぐ。

【制定の経緯】

- 令和6年1月 三次市地域再生可能エネルギー導入戦略を策定
- 3月 みよし未来環境会議サステナアンバサダーが「決意とメッセージ」として市長に提言
- 6月 「みよし未来環境宣言」を市長が表明
- 12月 条例（素案）のパブリックコメント実施
- 令和7年3月 市議会3月定例会において議決

【条例の特徴】

- (ア) 条文冒頭に「みよし未来環境宣言」を全文記載
- (イ) 基本理念に、ライフサイクル全体の環境負荷を意識した地球温暖化対策を行うことを規定
- (ウ) 再生可能エネルギーに係る発電、熱利用及び販売を行う事業者を再エネ事業者と定義し、その責務として、事業活動における環境との調和、防災力の維持及び地域住民の理解確保に努めることを規定

エ 『サステナみよし』の取組

S D G s 達成に向けて、持続可能(サステナブル)な社会構築をめざす活動や取組を「サステナみよし」と位置づけ、啓発や実践活動を展開した。

(ア) 市公衆衛生推進協議会と連携した取組

- 環境と健康のポスター・標語コンクール事業（継続）
 - ・応募数：市内小・中 22 校からポスター597 点、標語 1,341 点



(イ) 3 Rの推進

□リユースの取組

【(株)ヤクルト山陽との連携協定に基づく取組 (新規)】

- ・不燃ごみリユース実証実験を実施 (株)メルカリに出品)

リユース回収数 147 点、販売数 49 点、販売額 85,000 円



- ・メルカリ教室の開催

市職員対象 3 回、社会福祉協議会職員対象 1 回

【タオルバトンの取組 (新規)】

- ・家庭などで使用していないものを必要とする人に届ける仕組として、ハピネスフェスタ (11/13 開催) でタオルバトンを実施未使用タオル 200 枚：市社会福祉協議会を通じて福祉施設に使用済タオル 950 枚：県動物愛護センターを通じて愛護団体に



□リサイクルの取組

【使い捨てコンタクトレンズ空ケースのリサイクル (継続)】

- ・H O Y A(株)との連携協定に基づき、R7 年 3 月末で約 117,500 個 (約 117.5kg) の空ケースを回収した。

□集客イベントにおけるゴミ分別

【プロ野球ウェスタンリーグ戦会場のゴミ 4 分別の実施 (継続)】

2 生物多様性保全の取組

(1) 希少野生動植物の保護・啓発

ア みよし自然環境体験の開催（新規）

【主 催】

希少野生動植物保護活動団体で構成する実行委員会を設置

【内 容】

日 程：令和6年6月29～30日（土・日）

参加者：市内小学生5名、みよし未来環境会議サステナンバサダー

内 容：常清滝の自然観察、ブッポウソウ観察・巣箱づくり 等



イ 希少野生動植物保護団体との連携（意見交換会、個別協議等）

3 動物愛護・管理の取組

(1) 狂犬病予防注射の巡回接種（4～5月）

(2) 野良猫・野良犬対策

ア 啓発イベント、個別相談会の開催

イ わんにゃんサポーターの設置（応募13名）（新規）

ウ 地域猫活動の促進

